



今流行している麻疹（はしか）。今回は麻疹（はしか）という病気・ワクチンについてまとめてみました。

麻疹の発生状況について



2018.5/17現在、麻疹の患者数は12都道府県で150人との情報がありました。患者の年齢層としては、29-39歳のワクチン接種1回の世代が多いそうです。

麻疹とワクチンの歴史

- S53年(1978年)10月～麻疹ワクチン定期接種開始
- H元年(1989年)4月～MMRワクチン定期接種開始
(MMR…麻疹風しんおたふくかぜワクチン)
おたふくかぜワクチン株による無菌性髄膜炎が多発
- H5年(1993年)4月 MMRワクチン中止
現在国内ではMMRワクチンは使用していない
- H18年(2006年)4月～MRワクチン定期接種開始
(MR…麻疹風しんワクチン)
- 同年 6月～MRワクチン2回定期接種となる
(1歳児、年長児)
- H19年(2007年) ワクチン未接種者・麻疹未罹患者やワクチンを1回接種したがうまく免疫がつかない人(約5%)、ワクチンを1回接種したが一旦ついた免疫が、時間の経過とともに弱くなった人の間で流行が発生
- 同年 12月 この流行をきっかけに厚生労働省が国内麻疹排除に向けた取り組みを進めることを告示。
- H20～24年度の5年間に限って、中学1年生・高校3年生相当年齢の者を対象としてそれぞれ2回目の接種が実施された。
(H2年4/2～H12年4/1生の者が対象。それ以降の者は2回定期接種対象者)
- H27年(2015年)3/27 WHO WPROから麻疹排除状態であることが任命される



麻疹とはどのような病気？

麻疹ウイルスによる急性熱性発疹性ウイルス疾患です。感染力が極めて強く、死亡することもある重症の感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染いずれの方法でも感染します。

症状の現れ方(どのように経過するのか)

- ①潜伏期：10-12日
- ②前駆期(カタル期)：2-4日
発熱(38-39℃)、倦怠感
上気道炎症状(鼻水・咳くしゃみ等)
結膜炎症状(結膜充血、目やに、光をまぶしく感じる)
- ③コプリック斑：発疹出現の1-3日前に出現
2-3日で消失
頬の内側に白い粟粒のような発疹がみられる。この時期に一旦解熱傾向になる。
- ④発疹期：1週間-10日
再び高熱になる。風邪用の症状も再び強くなる。同時に麻疹特有の発疹が出てくる。まず首の後ろの方から出はじめ、顔面、上肢、胸部に広がる。発疹は赤く少し盛り上がり、皮膚を圧迫すると消える。日にちが経てくると発疹が色素沈着し、圧迫しても色が残る。
- ⑤回復期：高熱や発疹が1週間ほど続く
全身に広がった発疹はやがて融合して暗赤紫色の発疹となり、徐々に消失しながら治癒に向かいます。

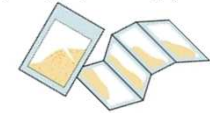


合併症について

- ①クループ：喉の奥の喉頭という部分に炎症が起こります。
- ②肺炎：麻疹の症状出現中だけでなく麻疹が治癒したかに見えた後にも重症な肺炎がみられることがあります。
- ③脳炎：発疹出現後2-7日くらいで発症することが多く、頻度は1-2/2000人くらいです。
- ④亜急性硬化性全脳炎(SSPE)：麻疹罹患後に体内でウイルスの持続が起こると脳細胞が傷害されてしまう疾患です。麻疹罹患後約7年くらいしてから発症します。割合は10万人に1人くらいです。

治療方法について

残念ながら特効薬はありません。対症療法(それぞれの症状を和らげる治療)と2次感染による合併症の治療が中心となります。



ワクチンについて

定期接種

- 【第1期】生後12~24ヶ月未満
- 【第2期】5歳以上7歳未満で小学校入学前の者(4/1~3/31の1年間)

この期間外では公費が適応になりません。忘れずに接種しましょう。

大人の方の接種について

2回接種していない、または過去に罹患していない方は接種の対象になります。現在、麻疹単独ワクチンは国内で不足しており、接種はMRワクチンになります。風しんの抗体が陽性でも接種は問題ありません。

当院での接種は予約が必要で、1回8000円になります。

今月の絵本

うしろにいるのだあれ のはらのともだち ふくだ としお：さく

近すぎて見えない事、気づかない事が冷静になるとわかっていきます。自分の周りをじっくり見ることが大切です。ことばは少ないですが、考えさせられる絵本でした。

クリニックの本棚にあるよ！



おしらせ

5/8に開催したそらいろこどもまつりはお天気も良く、たくさんのおもたけが遊びに来てくれました。ありがとうございました。次回は9月の予定ですので、また遊びに来てくださいね(o)

夏かぜが流行してきました。みなさま体調管理に気を付けてくださいね。



次回もおたのしみに～